

W.H.オーデンの 詩による歌曲集 (ブリテンとシバーク リーの作曲による歌 曲全24曲)

デッラ・ジョーンズ(Ms)
フィリップ・ラングリッ
ジ(T)ステュアート・ベ
ドフォード(p)
〈録音:1997年9月〉
[Naxos©8.557204]



ブリテンは30年代後半、記録映画の仕事を通じて知り合ったオーデンからさまざまな影響を受け、その交友からここに収録された〈この島で〉5曲はじめ、詩集「見よ、旅人よ!」からの、ブリテンにとって初めてのピアノ伴奏歌曲を書くことになった。97年になって初めて出版された曲も含む、40年代初頭までのオーデン歌曲は、音節と音意味と音楽をめぐる自由で多彩な試みが、さながら小さな実験工房のように展開され、変化に富んでいてとても刺激的だ。バークリーもオーデンとは親交があった作曲家で、壮年期の58年に書かれた〈5つの詩〉は、安定から微妙に逸脱する声とピアノの不協和が、新鮮な感覚的刺激を与える。

というわけで興味尽きない曲集なのだ、著作権の問題でもあるのか、テキストが添付されていないのはつらい。よほどオーデンもしくは英語に精通していないと、本当の妙味は味わえない。そんな欲求不満のなか、〈キャバレー・ソング〉5曲は救いだったけれど。